

## 植田校区大運動会

5月27日(日) 平成19年度植田校区春季合同大運動会が行われました。少し風が強かったものの、青空の下、みんなの歓声が運動場に響きました。

午前の小学校・保育所の部のテーマは「力強く、心を一つに、はばたけ植田っ子」で、そのテーマのとおり、短距離走に、紅白対抗競技に、学年団演技に、どの子もみんな力いっぱい取り組んでいました。5・6年生の組み立て体操は「源平・鬼島の戦い」。練習は大変だったようですが、一人ひとりの努力とともに、みんなで協力することの大切さを実感できる、迫力あるすばらしい演技となりました。また、保育所の子どもたちの演技もかわいらしく、かけっこの中でも別の方に向ってしまふらうよらよら歩きの子や、リズムに合わせて一生懸命太鼓をたたく平良児の姿などに、応援する方もハラハラ、ドキドキでした。



午後は一般の部。今年の婦人一般の種目は『板張』。西桜田に嫁いで来た女性が子どもを産み、その子どもが希望を待つて成長し、夢をかなえ、そして西桜田で年齢を重ねていく、そんな「女の一生」を表現していました。出場した婦人会の皆さんも少し照れくさそうにしながらも、さまざまな扮装を楽しんでいました。

そのほかにも、『熱年クラブ対小学生3・4年生のつなひき』などの新しい種目あり、『自治会対抗リレー』などの個例の種目あり、お年寄りから小さな子どもまで、いろいろな種目で初夏の1日を楽しみました。



## 節水に取り組もう！

香川用水の水源である早明浦ダムの貯水が著しく低下し、取水制限が強化されていますが、これから夏場本番を迎え農業用水や生活用水とも需要の最盛期を迎えるので、水源の確保と節水が大切です。

高松市では5月に渇水対策本部を設置しさらなる節水と水の有効活用を呼びかけており、子どもたちが楽しみにしていたブルも使用中止になるなど、不便な生活が始まり始めています。

しかしながら、梅雨入り後もまとまった雨はなく、極めて厳しい状況です。断水といいう非常事態を回避するため、各ご家庭の止水栓の続り込みによる自主減圧の徹底等により、1世帯100㍑以上の節水をお願いします。



## 女性ウォーキング♪

～婦人会～



前夜からの雨も上がり、さわやかな春風が心地よい五月の日曜日、婦人会が女性ウォーキングに上佐山登山を開催しました。参加者の年齢層は幅広く、3歳から80歳までの老若男女37名が元気に参加しました。

植田界隈公園に集合しストレッチ体操をしてから、緩やかな上り坂を登山口まで歩を進めました。時折、鶯の鳴き声を聞き、若葉が目に染みるような景色を眺めながら、杖を手に登り始めました。山の中腹くらい来たところでしょうか。大木が倒れて道をふさぎ、皆立ち止まってしまいました。先見の明があったのでしょうか。会長が断崖のこぎりを取り出し杖をひき始めました。次々と枝を片付けたり、木を抱えて横に転がしやっと通ることが出来た時は拍手。みんなの心がひとつになって標高265.7メートルの頂上にたどり着きました。360度見渡せる雄大な景色。1冊のノートに思いのままを記し記念撮影。その後「ふるさと」を全員で歌って満喫して下山しました。

上佐山は昔どんな山だったのだろうか…。祠ひとつと十河猪吉先生の「上佐山太鼓譜歌」に思いを馳せながら、こんな贅沢な時間を得たことに喜びを感じ、これからも充実した日々を過ごしたいと思いました。

## 山田中学校創立50周年

山田中学校が昭和32年に創立されてから、今年で50年になりました。その間、1万2千人を超える卒業生が政治や経済をはじめ、芸術、医療、教育多くの分野で活躍しています。みなさんの家庭の中にも、山田中学校で学んだ人々、今、学んでいる子どもさんもおられるでしょう。

先日、「山田中学校創立50周年記念事業」を行なうために、校区内の連合自治会や山田中学校PTAの役員を中心とした実行委員会が設立されました。

記念事業の内容としては、四国学院大学副学長の深原光彦先生の記念講演を中心とした記念式典10月21日(日)と記念誌の発行や記念碑等の設置で、具体的に詰めていくことになります。記念誌の発行の際には、卒業生・在校生・地域の方々のご協力をお願いいたします。



## 植田小学校内炭焼き祭

植田小学校に炭焼き祭が出来たことをご存知ですか？

勢ある学校づくりとして炭焼き体験活動を実施しています。そこから、植田長炭窯の皆さんと小学校の子どもたちとの交流が始まりました。さまざまな体験や人々とのふれあい活動を通して、児童の健康や苦労を知るとともに、ふるさとを思い、ふるさとの人々や自然等に対する感謝の気持ちが芽生えるなど、貴重な体験をしています。その体験から、小学生自ら竹炭を焼きたいとの思いが生まれ植田長炭窯会もぜひ、子どもたちの願いをかなえてあげたいと、竹炭窯を1基設置実現しました。

藤尾山は標高136メートル、古い時代には、お山自体がご神体のため拜殿はあるけれど本殿はありませんでした。お山の頂上から見る景色は、すばらしいものです。遠くは、屋島・丸亀・多度山が見えます。近くでは松尾池・神内池、上佐山あたりが一望でき、さぬき百景にも指定された景勝地でもあります。また、自然に囲まれた環境で、香川県自然環境保全特別地域にも指定されています。それほど、自然に恵まれた環境であるといえます。

神主さんは、地元でも有名な吉田先生ですが、神社のこと、神社の周りの自然環境のことなど、お話を伺ってみてはいかがでしょう。きっと、日からうるこのすばらしいお話を聞けます。ますます植田を愛する気持ちになることでしょう。



## もしもの連絡表を作ろう！

近年は、高齢化社会になり一人暮らしの家庭が増えています。昔に比べ義務環境も変化し、定住とはいかず、何処に居住の地を構えるかは会社したいといったところ多く見受けられるようになりました。そこで、一人暮らしの世帯が増えた今、力になるのは近隣の皆さんです。地域ぐるみで、一人暮らしだけど、一人じゃない。という安心感のある地域づくりをしてみませんか？

植田校区には、民民生委員の方いらっしゃいます。各家庭の相談にものってくれます。一人暮らしの方には、優しくお声かけをして下さっているようです。ただ、最近は個人のプライバシーを尊重ということもあり、なかなか、お声かけも十分ではないこともあります。

65歳以上の人暮らしと75歳以上ののみの家庭には、緊急連絡表と安心カードというものを配りています。それは一人暮らしである無いにかかわらず、大切なものではないでしょうか？各家庭で、緊急連絡網・直ちに知らせて欲しい近親者。また、病院、タクシー、友人など。連絡先一覧表を日々更新しておいて、いつでも確認できるといいですね。

安心・安全な住みよいまちづくりにみんなで取り組みましょう。



## 花の寺・勝名寺

花の寺で有名な勝名寺。春にはつつじ。夏にはアジサイ。秋には萩。冬には梅。四季折々に、花を咲かせを和ませてくれます。花の手入れは大変なものですが、ご近所の方、熟年会の方、また婦人会の方が、ボランティアでお手伝いしてくれています。

花の寺

花の寺として大勢の方の心に花を咲かせてくれているようです。最近では、地元だけでなく日々で広がり遠方から見学者や、会議施設の方々も見学に来られ、皆さんの心を和ませてくれています。住職さん…「大勢の方のご協力にありがとうございます」と、感謝の様子。お寺でありながらいろいろなイベントも企画され、大勢の方に楽しんでもらおうと頑張る住職さん、夏にはここ30年間も「子ども寺子屋」を開催し、子どもたちに1泊2日の体験学習をしてくださっています。どこから、そんなパワーが出てくるのか…ますます花の寺、イベントの寺で噴張していくべきだと思います。